

9月号

斐伊の子

文責：加納諭高



この夏はリオ・オリンピックで日本選手が大活躍し、本当に暑くて熱い、しかもあつという間に過ぎた夏休みだったように思います。そんな中、真っ黒に日焼けして一段と遅くなった子ども達は、元気に2学期のスタートを迎えることが出来ました。この秋、一人一人がどんなふうに成長し、またチーム斐伊としてどんな力を発揮してくれるか、今から楽しみです。

踊り・スポーツ大会・工作・お弁当作り・旅行等々 夏休みの素敵な思い出や体験を発表

2日の全校集会時に、各学年の代表が全校児童の前で、夏休みの体験発表をしました。

- 1年：陶山杏織「よさこい踊りを踊ったよ」
- 1年：石橋 晨「レスリングの大会で銅メダルをとったよ」
- 2年：河角海輝「お弁当作りをがんばったよ」
- 2年：白築果歩「初めて流れ星を見たよ」
- 2年：深田絢音「稲より体験をしたよ」
- 3年：稲田姫星「バーティック（蠟染め）体験をしたよ」
- 3年：落海詩門「初めて一人でお弁当を作ったよ」
- 4年：深田凜舞「家族で大阪へ旅行に行ったよ」
- 4年：若槻勇斗「ロボット作りに挑戦したよ」



- 5年：曾田陸都「野球の練習と宿題をがんばったよ」
- 5年：田中悠歩「ラジオ体操を休まずがんばったよ」
- 6年：安部琴鈴「宮島水族館がとても楽しかったよ」
- 校長：加納諭高「黒田投手が200勝を達成した試合を観戦したよ」

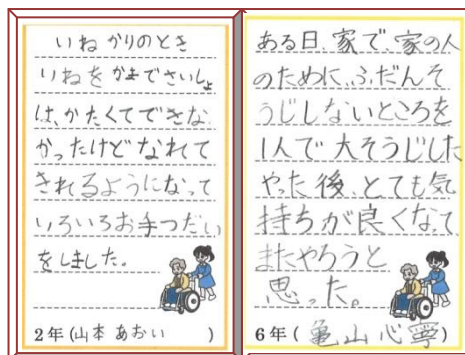


私もカープの応援に行って、忘れられない思い出ができたので紹介しました。誰もが、この夏様々な体験を通して多くのことを学んだり感じたりしたことでしょう。こういった貴重な体験や素敵な思い出を、これからたくさん作ってほしいと願っています。

「夏休み中、誰かのために何かをしよう」の結果は・・・

「人のために役立つことをしよう」と夏休み前に呼びかけたところ、児童は家のお手伝いや地域のボランティア活動に汗を流してくれました。これは昨年から取り組んでいる人権教育に関わる活動で、自己有用感や自尊感情を高めるために、折に触れて呼びかけています。

また、「友達がいいことをしていたら紹介しよう」「真似しよう」ということも話しています。常に意識させていると、少しずつ行動が変化、いや成長していくのが分かり、こちらも嬉しくなります。



あつという間に校舎も校庭もピカピカ

今年も夏休み後半の日曜日に、4年生以上の児童と保護者全員で、PTA主催の環境整備奉仕活動を行っていただきました。約2時間の作業で教室の窓や校庭があつという間に綺麗になり、本当に感謝しています。

スッキリとした環境の中で、しっかり学習を進めていきたと考えています。今後ともご支援よろしくをお願いします。



各教室や廊下で夏休み作品展を開催中！

研究・工作・絵画など、児童が夏休みに取り組んだ作品が各教室に展示されています。様々な工夫や苦勞の跡が伺えるもの、親子の共同作業で完成した微笑ましいもの、思わず「なるほど」と感心するもの等、いずれ劣らぬ力作ばかりです。

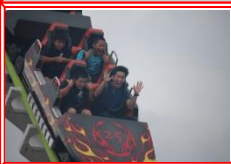
23日の学習公開日には授業だけでなく、展示されている作品もどうぞご覧ください。



充実した二日間で修学旅行の目標達成

6年生18名が、平和学習・歴史学習・工場見学・国際交流体験・お土産探しといった、盛りだくさんな内容を肌で感じながら学習するために、広島・宮島・福山へ修学旅行に出かけました。

天気にも恵まれ、学習内容だけでなく「よく学びよく遊べ」「協力」「集団行動」といった行動面のねらいも達成でき、充実した二日間になりました。きっと6年生にとって、小学校生活の中で忘れられない思い出の一つになったことでしょう。



永井隆平和賞発表式典で平和の尊さを学ぶ

9月11日、市内の小学校6年生と市民の皆様が多数参加のもと、永井隆平和賞発表式典がアスパルで盛大に開催されました。

今回は初めに、3月末で閉校となった飯石小学校に代わって姉妹校となる、三刀屋小学校と長崎市立山里小学校との調印式が行なわれました。その後、平和賞作文の表彰式があり、最優秀賞を受賞された方々が作品を朗読されました。

雲南市では、どの学校でも6年生は永井隆博士を通じて平和学習を行なっています。参加した誰もが改めて、平和の大切さを感じた式典となりました。



9月の主な行事予定

- 23日（金）授業公開日、学校保健委員会
1年給食試食会
- 25日（日）大東陸上競技大会
- 28日（水）校内写生会



10月の主な行事予定

- 2日（日）斐伊地区民体育大会
- 6～7日（木・金）宿泊研修（5年）
- 14日（金）市バスケットボール大会（6年）
- 21日（金）人権教育研究発表会
- 27日（木）フリー公開日、ロードレース大会

木次町内5年生が全員集合して交流会

9月15日、木次小学校に町内の5年生67名が集合し、自己紹介やいろいろなゲームを通じて交流を深めました。

初めは緊張した様子も伺えましたが、すぐに打ち解けて笑顔で楽しそうに活動する姿が見られ、短い時間ではありましたが、交流活動のねらいが達成できたのではないかと思います。

中学校へ進学する際の不安や悩みを少しでも解消し、スムーズな移行をめざす目的で、小学校在籍中にこうした交流活動を実施しています。隣接校に一人でも多くの友達を作ってほしいと願っています。



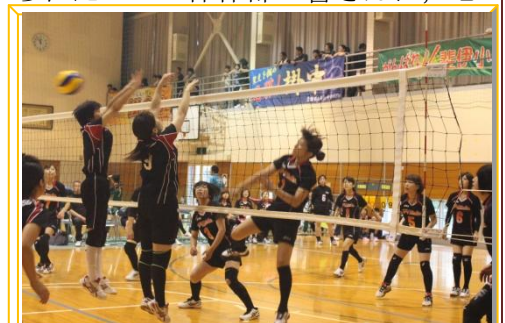
斐伊小らしい粘りとチームワークを発揮



今年も市PTAバレーボール大会が9月18日に開催され、斐伊小チームは予選リンクを2勝で勝ち上がりましたが、準々決勝で惜しくも優勝チームに敗れ、ベスト8という結果でした。

しかし、準々決勝の第2セットは、持ち前の粘り強さを発揮して劣勢からの大逆転で奪い返すなど、見応えのある素晴らしい試合内容でした。

指導いただいた監督・コーチ・マネージャーの方々と協力してこられたPTA保体部の皆さんに、心から感謝申し上げます。そして、この活動を通じて、PTA会員同士の絆が一層深まることを願っています。



今月のひとり言・・・

この夏人間ドックで胃カメラを挿入し、10年ぶりに歯医者へも出掛けました。「はい、力を抜いて。楽にしてください」と言われて初めて、体中に力が入っている自分に気付くことがしばしばありました。

力を抜くことは、簡単そうで意外と難しいものです。そして、治療の時だけでなく、仕事をする時にも肩に力が入りすぎるとうまくいかないことがあります。治療も仕事もある程度力を抜いてリラックスして取り組むと、より効果的だったりいいアイデアが浮かんだりするものです。

時々深呼吸して、力み過ぎていないか自問自答しながら、これから仕事に励んでいきたいと思っています。